

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100948
事業所名	グループホーム フレンズハウス七反野

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、管理者は毎月町内会の定例会に参加して情報交換をしている。運動会や防災訓練など町内会の行事や幼稚園児との交流、ボランティアの慰問などは見合わせをしている。状況を確認しながら戸田川のふれあい祭りの見物や小学校の銭太鼓の演技などを予定し地域との触れ合いを楽しみにしている。公園までの散歩や地域の方の好意で施設周りの清掃や草取りをしていただく方やアニマルセラピーなどとの交流を大切にしている。ドライブで花見をしたり、街並みを散策したりして町の賑わいや風情を楽しめるようにしている。「こども110番」を掲げ、地域の援助も行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 感染状況を確認しながら入居者、町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員、福祉事業関係者の参加を得て2か月に1回対面で開催している。案内や運営推進会議議事録は参加者に送付しているが、家族への配布や会議の意義などをより一層理解して頂く手立てを模索する心積もりをしている。書面開催時の意見等はアンケートで返信できるよう工夫をしている。会議開催時に出席した意見は、職員で協議しサービスの向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 介護計画の更新や申請の代行手続きなどは本部事務局を通して提出したり直接郵送したりすることが多くなっている。役所に向いた折には、入居者の状況の報告や相談、サービスの内容などを伝え直接アドバイスや指導を受けたりしている。いきいき支援センターと協力の基、「みなど高齢者見守りサポーター」と「認知症サポーター」を掲げ、相談窓口としている。港区保護係が施設に訪れ、相談をするなど良好な協力関係が保たれている。いきいき支援センター主催の家族教室に管理者が講師として参加したり、高校の授業で講師を依頼されたり外部機関との連携を積極的に図るようにしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から意見や要望を聞いている。面会や病院の受診時、届け物で訪問した時、電話などの機会を見つけて聞くようにしている。意見や要望などは、申し送りノートに記録して会議で検討し、ケアや業務改善に役立てている。フレンズ通信を2か月に1回発行したり、ホーム便りとして入居者の日ごろの様子を記載して送付し家族に安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

【備考欄】

運営推進会議は状況を確認しながら対面で開催をしている。お天気の良い日には、施設周りの散歩や庭の池の鯉を眺めたり、畑の野菜の収穫をしたりして外気に触れる機会を大事にしている。地域の催し物や行事も徐々に再開されるようになりつつあるので、状況を確認しながら、喫茶店や外食、買い物など入居者の希望する所へ外出ができるように心積もりをしている。また、手作り食事を継続している中で、外食気分が味わえるようなバイキング形式や職員手作りのサプライズ弁当、パーベキュ、手作りおやつなど施設の中で楽しみながら気分転換を図る工夫をしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							